職務経歴書

2023 年 11 月 15 日現在
氏名：ワーク太郎

■職務経歴概要

大学を卒業後、株式会社 AAAAAAA に入社。約 5 年間、香料開発部に配属となり、調香、基礎研究、そして分析を担当しました。その後、各部門との連携のもとコンセプトの立案からアプリケーション業務、ラインへの落とし込み作業まで、一連の流れを経験いたしました。

■得意とする経験・分野・スキル

・●年間にわたり一貫して品質管理に携わってきた経験
・他部門と連携して課題解決のための提案を行う組織対応力
・食品素材に関する知識

■会社履歴

期間	会社名
20XX 年 XX 月～現在	株式会社 AAAAAAA

■職務経歴詳細

株式会社 AAAAAAA　　20XX 年 XX 月～現在

事業内容：飲料の製造・販売
従業員数：●名
資本金：●万円

期間	業務内容	職位
20XX 年 XX 月 ～ 現在	**香料開発部にて素材基礎研究** 【担当製品】 ・香料全般 【担当業務】 ・食品香料の調香（香料開発、イミテーション等） ・基礎研究（乳化香料、粉末香料、新規抽出法の研究開発 ） ・分析（GC/MS 分析等） 【ポイント】 ・飲料の熱虐待防止、光虐待防止の素材及び化学的条件、 高甘味剤（人口甘味料)に注目して研究を行うことで 製品開発に活かせる素材開発を行った。	メンバー

■PC スキル/テクニカルスキル

・TOEIC　●点（20XX 年 XX 月取得）

・Word、Excel

■自己 PR

市場ニーズの把握力

事業拡大の視点から市場分析・競合調査を徹底した上で、商品企画部と連携してユーザーが求めるものを開発テーマに策定しました。生産工程やコスト面なども想定し、より高品質な製品を生み出すためにテストを繰り返しました。結果として、量産も可能な新技術を使用した香料開発に成功。現在では既存製品や新商品など含め多数の商品へ利用されるまでになっています。

製品化に向けた各部門との調整力

企画部門をはじめ、開発や生産など多くの他部門と関わりながら研究に取り組むため、各部門での進捗報告のフロー構築や、調整作業に尽力しています。結果として、研究から生まれた技術を実際の製品開発に実用されるまでのスピードが向上できています。

是非、面接の機会をいただければと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上